

# いわて復興だより

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手

## 三陸復興

第 63 号

平成 26 年 5 月 15 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

緑に色付いた木々や、陽射しの変化に初夏の訪れを感じる今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

4/27

## 安倍内閣総理大臣が被災地を視察されました

東日本大震災の復興状況視察のため、4月27日に安倍内閣総理大臣が本県沿岸北部を訪問されました。野田村城内地区の災害公営住宅や応急仮設住宅などを視察後、全面復旧したばかりの三陸鉄道北リアス線に乗車（陸中野田駅～普代駅間）し、地元利用者の方々と懇談し、復興が着実に進んでいることを実感されたようです。

また、田野畑村の「サケふ化施設」も視察され、稚魚への餌やりと放流を体験されました。希少な体験だったのか、バケツ内の餌が無くなるまで丁寧に撒かれていた姿が印象的でした。総理が餌付けと明戸川に放流した稚魚の多くが、回帰することを願います。

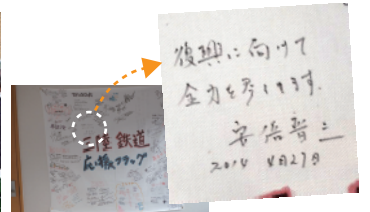
最後に、岩泉町の小本駅で小本地区全体の復興事業を視察後、待合室に吊るされている「三陸鉄道応援フラッグ」に“復興に向けて全力を尽くします。”とコメントを残されました。



門前小路第2地区災害公営住宅（野田村）で説明を受ける安倍総理（左端）



田野畑村サケふ化場で稚魚に餌を与える安倍総理（左から二人目）



小本駅（岩泉町）の待合室に残した安倍総理の決意！

## 北山崎の観光船が7月末に運航再開

田野畑村

4月30日（水）、田野畑村の第三セクター・陸中たのはたが運航する北山崎めぐり観光船の工事安全祈願祭が、山田町大沢の造船工場で行われました。

北山崎めぐり観光船は、東日本大震災津波により、発着場が壊滅的な被害を受け運航が休止されていました。また、船体の老朽化にともない廃船となりましたが、平



新観光船の完成イメージ図

成 26 年 7 月末の完成に向けて、新しい船の建造が進められています。

新造船は、アルミ合金製で全長約 22 メートル、全幅 4.1 メートル。総トン数 19 トンで最大速力 18 ノット、旅客定員は 92 人。船名は、村民や小中学生から公募し、7 月上旬に決定する予定です。

北山崎は、(財)日本交通公社の全国観光資源評価の「自然資源・海岸の部」において、最高ランクの特A級に格付けされた景勝地で、高さ 200m の断崖は圧巻です。

北山崎や鶴の巣断崖などの景勝地を楽しむ観光船は、「北山崎断崖クルーズ観光船」として装いを新たに運航を再開します。

今夏には、三陸鉄道北リアス線の島越駅舎の完成も予定され、北山崎観光の誘客が大いに期待されます。



新しく建設された発着場

## いわて復興応援団(員)大募集中!



首都圏にお住まいの方を対象に、応援団員（個人）と応援団（法人及び団体）の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団

検索

知って、買って、食べて、行って応援!

登録無料

今回、復興応援隊に着任された長崎県出身の杉本伸一さんと、大阪府出身の柿元恵美さん取材しました。

杉本さんは「三陸ジオパーク推進協議会」(宮古市)に、柿元さんは災害FMパーソナリティーとして「NPO法人陸前高田市支援連絡協議会 AidTAKATA」(陸前高田市)に配属が決まっています。着任後、達増知事を表敬訪問され、それぞれが復興応援隊での活動を希望した想いを語られました。達増知事は、「震災からの復興には地元の底力も必要だが、様々なつながりの力も必要。是非ご活躍いただきたい」と激励されました。

杉本さんは、元長崎県島原市の職員で、柿元さんは「FM AICHI」などでラジオパーソナリティーをされていたそうです。経験豊富なお二人のご活躍を、心から応援したいと思います。



達増知事を表敬訪問しました



ガッツポーズで決めてくれました

#### 杉本 伸一さんの意気込み

「雲仙・普賢岳の災害当時、たくさんの方からの支援をいただきました。また、雲仙岳災害記念館で災害を伝えるという仕事もしてきました。今度は、私が当時の体験や教訓、また、これまでの経験を活かして恩返しをしたいと思います！」

#### 柿元 恵美さんの意気込み

「ラジオパーソナリティーとして震災の話題を伝えていましたが、実際に現地に行ったことがありませんでした。このため、機会をみつけて大船渡や陸前高田に行ってみたところ、人の優しさなどに触れて、この場所が大好きになりました。この声を使って、皆さんに元氣になっていただけるように一生懸命がんばります！」



辞令交付を受けた柿元さん(左)と杉本さん(右)

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第17回目は、佐藤 巧真さんを紹介します。

#### PROFILE

大槌町赤浜出身。  
東日本大震災発災当時は15歳。大槌中学校での卒業式前日に被災。  
平成26年3月に県立大槌高等学校を卒業。  
同年4月より消防士としての技術を身につけるため、矢巾町にある岩手県消防学校で学んでいる。

#### 震災を機に消防士を目指す

翌日に行われる卒業式の予行練習のため学校に行っていた佐藤さんは、午後、自宅に戻った時に東日本大震災津波に遭いました。

津波が引き、地域の人たちと一緒に、生きている人がいないか探しに行った時、知っている人がたくさん倒れている光景や、息はしている

## 未来の

## さんりく びと

岩手県消防学校  
在校生  
佐藤巧真  
(さとう たくま)さん



佐藤さんからのひと言：  
もっともっと笑顔あふれる大槌に！

が意識がない人たちをたくさん見て「自分一人で何もできないのが悔しかった」と当時を振り返ります。

そして震災を機に、地域の人たちの安全や命を守る消防士になることを決意します。

#### 地域をただ守るだけでなく、地域の人たちと近い存在に

現在通っている岩手県消防学校(紫波郡矢巾町)卒業後は、釜石・大槌管内の消防署に配属される予定の佐藤さん。

大槌への帰宅のたびに、新しい建物ができていたり、あったものがなくなっていたりと、復興が進む故郷の姿を見つめています。

「地域をただ守るだけでなく、地域の人たちと近い存在でありたい」と語る佐藤さん。「消防士という仕事だけではなく、一人の人間として頼られるような人間になって、たくさんの人を助けていきたい」と将来の夢を語りました。

#### 岩手県の被害状況

平成26年4月30日現在

- ▶人的被害 死者(直接死):4,672名 行方不明者:1,132名
- ▶建物被害(住家のみ、全半壊) 25,706棟

被害状況等の詳細  
義援金・寄付金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

#### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成26年3月31日現在

- ▶義援金受付状況 約181億1,802万円(88,775件)
- ▶寄付金受付状況 約195億3,536万円(6,701件)
- ▶いわての学び希望基金受付状況 約65億5,300万円(13,000件)

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](http://iwate-fukkoudayori.com)】もご覧ください!! <http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第63号 平成26年5月15日号 企画・発行:岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

いわて復興だより

検索

編集・印刷:シナプス